

このコーナーでは、皆さんからの「こころ和む話題」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆字数 200 文字以内（文章は、必要に応じて添削する場合があります）
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入がない場合イニシャルで掲載します）を記入の上、市広報係までご投稿ください
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月 10 日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
 伊佐市大口里1888番地
 市総務課広報係(大口庁舎)
 「和みのひろば」係
 ☎ 1311
 ① 1116・1117
 ✉ koho@city.isa.le.jp



いつも笑顔で元気なTさんは、地域のボランティア活動に積極的で、表彰されたこともあります。最近、入院されて誰もが心配しましたが、先日退院、再び元気な姿を見ることができて一安心です。頑張るTさんからは優しい人間愛が伝わります。「隣人愛、地域のために今、何ができるのか」それは私への人生の応援歌です。Tさんは

伊佐平野は田植えの準備に追われ、この時期は燕も子育てのために餌を求めて忙しかったです。2羽はすでに息絶えていたので丁寧に葬ったが、残りの3羽は自力で羽を動かしていたので、しばらく餌や水を施し、外敵から守ってあげることにしました。順調にいけば巣立つ日も近いと思います。この世に生まれてきた小さな命です。餌を与えるたびに愛おしくなります。
 (大口 O・K 60歳)

「この頃が懐かしいわ。」結婚式の準備で親友と昔の写真を広げ、中学の頃の話で盛り上がる。卒業文集を読み返すと「将来は絶対動物関係の仕事がしたい。」と書いている。そんな私が、今では看護師として働き始め、2年目を迎えた。先輩方から指導をいただく毎日。まだまだ未熟で、自分に腹が立つこともあるけど、看護師という仕事に誇りを持ち、1日でも早く一人前の看護師として認めてもらえるよう、初心を忘れず頑張っていきたい。
 (曾木 あひるの子 23歳)

92歳、これからも人生の大先輩として郷土を愛し、育み、見守ってください。
 (山野 毎日一万歩 61歳)

「あひるの子」さん、「結婚おめでとう」ございます。動物好きの看護師さん、優しい方だと想像できます。大変なお仕事ですが笑顔で頑張ってください。



編集後記

「まちの話題」にある東京での「伊佐産品販売会」に参加してきました。「安い」と産直野菜や郷土のお菓子をカゴいっぱい購入していただき、呼び込みの声にも力が入りました。

そんな中、気になる「本当に鹿児島産？」の声。少し驚きましたが、鹿児島弁で話すと「ホントね」と、笑顔で購入されました。次に、小さな子供を連れた若いお母さんは、何度も行き来した後、「精米も鹿児島産ですか？」と質問され、ハイと答えると、安心した様子で5kgの米をリュックに入れ、2人の子どもの手を引き帰られました。地元ではあまり考えることのない「安全」へのこだわり。こんなにモノが溢れている東京なのに、田舎に暮らす私達より飢えているように感じました。地元では、あたり前の新鮮で安全な食べ物に改めて感謝するともに、立ちっ放しで出来た足のマメの痛さも忘れ、「安全」に飢えている人に、もっと伊佐の品を届けたいと思いました。あたたかい声をかけてくださった「ふるさと会」の皆さまにも深く感謝です。



人口のうごき (住民基本台帳から)

H24. 6. 1 現在 (前月比)

総人口	29,287人	(- 12)
男	13,546人	(- 3)
女	15,741人	(- 9)
世帯数	14,221世帯	(- 6)